

写真で見る活動記録!

～初心忘れず、日々精進!～

コロナで長らく地域行事も中止を余儀なくされていましたが、この夏・秋は、多くの地域で4年ぶりに行事が復活し、多くの皆様と再会もでき、たいへん嬉しかったです。どうぞ街でお見かけの際は、気軽にお声がけください(^^)

中央区重点会場として防災訓練を実施!

8月27日、9都県市合同防災訓練が開かれ、「中央区重点会場」として、椿森中学校避難所が選定され、初めての本格的なマンホールトイレ設置訓練(実際にプール水を接続する訓練も)を実施するなど、新聞報道でも取り上げられました。



【神谷市長、松浦区長と避難所役員の皆さん】

【マンホールトイレの設置訓練も実施しました】

市教育委員会に心肺蘇生訓練人形を寄贈!

10月5日、千葉ライオンズクラブの皆さんと、市教育委員会に心肺蘇生訓練人形・機材を寄贈しました。(毎年継続し、これまで50体寄贈)この訓練人形を活用して、小中学校ではAEDの使い方を学ぶ訓練が行われています。



【鶴岡市教育長に進呈しました】

神谷市長に政策要望・予算要望を提出!

11月、これまで皆様からいただいた地域の課題や要望を踏まえて、会派で取りまとめた来年度予算への要望書を神谷市長に提出しました。皆様の声を今後も届けていきます。



市政へのご意見は… 携帯電話 090-3694-4173 TEL/FAX 043-255-8108

携帯電話か留守番電話にメッセージをお願いします! お手紙も大歓迎です!

ホームページ <http://www.kamei-takuma.com>

メール DQG06110@nifty.ne.jp

フェイスブック、ツイッターで、日々の活動を報告しています!

亀井たくま でご検索ください!



亀井たくま(43歳)、日々修行中です!!

1980(昭和55)年3月生まれ。中央区椿森出身・在住。

●作草部幼稚園 ●都賀小 ●椿森中 ●市立千葉高 ●早稲田大学政治経済学部 ●早稲田大学大学院公共経営研究科修了。2007年市議選で21票差で落選。2011年、2015年当選。2018年社会保険労務士試験に合格。2019年3選。2023年4期目の当選。

地域での仕事 ●千葉市スポーツ推進委員・千葉市青少年相談員 ●院内小、椿森中地区各種団体役員 ●椿森3丁目・5丁目地区役員 ●第4地区(椿森中学校区・東千葉地区)自治会連絡協議会理事

資格 ●行政書士 ●社会福祉士 ●精神保健福祉士 ●愛玩動物飼養管理士 ●防災士 ●ホームヘルパー2級

議会での仕事 ●都市建設委員会委員 ●大都市制度調査特別委員会委員 ●廃棄物減量等推進審議会委員

趣味 ●明治～昭和の懐メロ。童謡・唱歌。 ●NPO東海林太郎顕彰会理事(本部・秋田市) ●好きな歌手は灰田勝彦、東海林太郎、三浦洗一。(地域で演奏・茶話会のボランティアしています)

市民の皆様と一緒にクリーン・あたたかな市政をめざします!

ワンコインカンパ(1口500円・複数口大歓迎!)にご協力ください。

郵便振替口座 00190-7-456984 亀井たくまと亀の歩みの会



最後までお読みいただきまして、ありがとうございました!

ひとりひとりを大切にする千葉市政を!

千葉市議会議員(120%市民派!無所属)

議会報告
57号

亀井たくま ニュース

発行 亀井 琢磨 2023年冬の便り号

自宅 〒260-0042 千葉市中央区椿森3-13-8

携帯 090-3694-4173

事務所 〒260-0042 千葉市中央区椿森5-4-5

TEL/FAX 043-255-8108

ホームページは [亀井たくま](#) で検索をお願いします!

メール DQG06110@nifty.ne.jp

毎回、皆様の声を市政へ直球提言! 心あたたかな市政・地域づくりへ邁進します!

皆様、お変わりございませんか!いつも市政と議会活動への御理解・御協力を賜りまして、心より感謝申し上げます!

千葉市議会令和5年第3回定例議会(9月6日～10月3日)におきましても、亀井たくまは「本会議質問」「委員会質問」「決算審査特別委員会質問」に登壇いたしました。今回も内容を厳選・抜粋して、お届けいたします。今後も「ひとりひとりを大切にする市政」を目指して、活動を続けてまいります。どうぞ御指導のほど、よろしくお願い申し上げます!



9月議会で決まったこと!



【初当選以来、12年間すべての議会で欠かさず質問に登壇しています!】



出産・子育て応援プラン給付金の延長・継続(約3億円)

➔ 子育て支援として、妊娠・出産時に計10万円支給します。

企業立地・誘致の促進支援(約4億4000万円)

➔ これまでの企業立地・誘致による税収増・雇用増を踏まえ、市内への移転を考えている企業へ補助金を交付する事業を制度化・拡充します。

下水道料金の改定

➔ 電力価格・人件費高騰に伴う施設維持管理費の増加、下水道使用料の減収等により、下水道財政が厳しくなっており、10年ぶりに下水道使用料を改定(基本使用料580円→611円)します。引き続き、経営効率化が求められます。

がん患者の方々への支援(約838万円)

➔ がん患者の方々への支援として、ウイッグ(5万円)、胸部補整具(2万円)、エピテーゼ(人工の乳房や鼻、指など、5万円)の購入費を補助します。

ZOZOマリンスタジアムの屋根の塗装修繕(約1億5400万円)

➔ マリンスタジアムは、10年後を目途に、建て替え・移築を検討します。

動物公園の動物科学館学習展示施設の改修(約5億8700万円)

➔ 「熱帯雨林や地球環境」を学ぶ施設にリニューアルします。(令和7年度完成)

千葉市立稲毛国際中等教育学校の大規模改修(約15億8000万円)

ちば消防共同指令センター指令システムの更新(約11億2600万円)

各種事業の詳細については、市政だより・市ホームページをご参照ください!

9月議会でも、皆様からの声を質問・提案しました!

マイクロプラスチック問題について

Q マイクロプラスチック対策の推進を。

A 砂浜・海浜調査に続き、今年度は、市内の「河川」の状況を調査しており、市内のマイクロプラスチックの発生状況を把握する。調査結果は情報発信して市民理解を進めるとともに、不法投棄対策など、具体的な発生防止対策に活かしていく。

亀井 プラスチックごみは、海の生き物を脅かし、ひいては私たち自身を脅かすもので、2050年には海洋ごみ・プラごみが魚の量を超えるとも言われている。市内の河川・海辺の現状や、どうしたら防ぐことができるのかを、ぜひ子どもたちにもわかりやすい形で啓発し、市民の理解促進・行動変容に繋げてもらいたい。

ごみ減量・リサイクル促進について

Q 資源物回収やリサイクルのさらなる拡大を。

A 今年度、初めての取り組みとして大型イベント会場で、「使用済みばし回収」を実施した。19.3キロ回収でき、バイオマス発電等に活用し、約12キログラムのCO₂削減に繋がった。さらなる回収・資源化に努めていく。10月から、「使用済小型家電」と「単一素材プラスチック」の回収品目・回収場所も拡大したが、今後も検討していく。

亀井 「使用済みばし回収」は、ぜひ実施場所や回数を増やしてってもらいたい。他市では、メガネ、歯ブラシ、使い捨てカイロ、入れ歯・などを分別回収・リサイクルしている自治体もあるので、本市でもさらなる資源回収を。小さな取り組みこそが大事と考える。

精神保健医療福祉について①

Q 東京都の滝山病院における精神障がい者への虐待事件が発覚したが、本市における「長期入院」「虐待」「身体拘束」の実態は。

A 市内精神科病院入院患者は865名、そのうち入院期間が1～5年186名、5～10年112名、10～20年84名、20年以上74名で、1年以上は合計456名(53%)である。虐待については、近年、重大事案は発生していないが、匿名通報など情報が入った場合には現地調査を行い、指導等を行っている。身体拘束は46名(令和4年度)であった。

亀井 我が国の精神保健医療は、「患者の長期入院」等の課題を抱え、国連から改善勧告を受けている。本市においても、「1年以上入院」が半数以上、「10、20年以上」という方も多く、「長期入院」となっており、「死亡まで退院できない」実態もある。また、かつて本市でも虐待事件があったが、再び虐待事案が起こらないよう、匿名通報や相談に対しては、丁寧に調査・指導に入ってもらいたい。

食品ロス問題について

Q 食品ロスを減らすための取り組み推進を。

A 「発生抑制」「再生利用」の観点から、①学校教育・消費者教育などの地域での「食品ロス問題」の啓発・理解促進、②フードバンクなどとの連携、マッチングアプリの活用推進、③家庭・企業でやむなく発生した食品ロスの再資源化施策の推進に積極的に取り組んでいく。

亀井 「食品ロスを減らそう!」という市民の意識変化は進んできたが、今後は、余った食品を市民が気軽に持ち寄れる機会、提供された食品・食材等が必要とする市民にスムーズに循環していく制度を作ってもらいたい。

地球温暖化防止、脱炭素社会に向けて

Q 「脱炭素化」「環境負荷低減」の取り組み推進を。

A 「災害時対策」と「環境にやさしいエネルギーの地産地消」の両面から、避難所となる公民館・学校140か所に太陽光発電・蓄電池を整備してきたが、今後さらに約100か所の公共施設にも設置を進める。また、エネルギーマネジメントシステムの導入を進め、清掃工場で発電された電力を市有施設にて有効活用していく。

亀井 2050年の脱炭素社会を目指して、県内初の「脱炭素先行地域」(国から指定)として、脱炭素化・環境施策を進めていることに期待する。今後も行政が率先して行動するとともに、「電気自動車購入」や「住宅の省エネ化」等への補助・支援など、市民への支援もお願いしたい。

精神保健医療福祉について②

Q 虐待防止や人権向上を。精神障がいの方の地域生活移行への取り組みは。

A 精神保健福祉法改正により、病院職員への研修、患者からの相談体制整備、虐待通報義務、自治体による虐待状況公表、「医療保護入院」運用の厳格化、患者への支援員訪問事業などが新たに始まる。現在、関係機関が連携を深め、精神障がいの方を対象とした「地域包括ケアシステム」の構築を進めており、連携会議体の設置、地域理解を広めるための講演会の開催、地域移行に携わる医療機関や事業所職員への研修等に取り組む、患者の地域移行を進めていく。

亀井 厳しい社会状況を反映してか、「こころの病」で苦しむ方は、全国でも市内でも、年々増加傾向にある。「精神障がい」に関しては、まだまだ世間の無理解や誤解、偏見が多くあるが、ひとりひとりとは私たちが同じ1人の人間だ。当事者・家族支援や地域理解を進めていき、たとえ心の病を抱えていても、地域で心穏やかに暮らしていける環境・体制をぜひ作ってってもらいたい。

動物公園・動物福祉について

Q 動物公園における「動物福祉」推進を。

A 本年、日本動物園水族館協会(JAZA)による動物福祉に関する「評価」を受け、「栄養」「環境」「健康」「行動」「精神状態」「運営」の視点による88項目の監査の結果、77項目で「基準に準拠」、10項目で「準拠しているが不十分」1項目が「不十分」で、概ね良好な評価を得た。飼育日誌の改善など、10項目は早期に改善する。残る1項目は「アジアゾウの爪の手入れ」であるが、体制や施設改良が必要であり、今後改善に努力する。これからも動物福祉の考えのもと、動物たちの肉体的・精神的な健康を目指し、大学などと連携しながら、飼育環境の改善に取り組んでいく。



亀井

「動物福祉」の観点から、動物たちがより自然に近い環境下で、快適にのびのび暮らすことができるように、飼育環境の改善など、「動物福祉」の取り組みが必要だ。今回、日本動物園水族館協会より、動物福祉に関して「おおむね良好」という評価を得たことは、全国的にも本市動物公園が動物にやさしい、動物福祉に配慮している動物園という評価に繋がり、大いに意義があることと考える。今後も市民に親しまれる動物公園として、施設リニューアルを進め、動物たちがより良く暮らしていける環境づくりに努めてもらいたい。

千葉公園について①(水害対策)

Q 9月豪雨の千葉公園周辺の被害状況は。浸水被害への対策を。

A 公園・周辺では路面が冠水し、公園体育館は床上浸水が発生した。現在、千葉駅・千葉公園周辺を「雨水対策重点地区」として、貯留槽やバイパス管の整備を進めているが、完成まで期間を要することから、今回の被害を踏まえ、暫定対策を検討してまいりたい。

亀井 すでに対策工事を実施した椿森・弁天・松波や千葉駅周辺では、これまでたびたび起きていた浸水被害が軽減・減少しており、取り組みに感謝する。今後については、貯水槽の早期設置を進めつつ、さらなる対策を求める。

千葉公園について②(樹木伐採問題)

Q 樹木の伐採・植栽方針が不明確だ。樹木の伐採状況と今後の植栽は。

A 危険な木や混みあった樹木など、直近3年間で170本を伐採した。植栽については、今後ゾーンごとに検討を行うが、「賑わいエリア」においては、150本を新たに植えることとしている。

亀井 公園内の緑の状況については、公園利用者から、「緑を大切にしてほしい」「どのような基準で伐採しているのか」など、引き続き、多く声が寄せられているので、慎重かつ丁寧に対応してほしい。

平和・人権について

Q 関東大震災では、流言やデマにより、罪のない日本人や朝鮮・中国の人々が殺害される事件が全国で発生し、本市でも「検見川事件」(右記参照)が起きたが、その歴史は継承されていない。市の歴史認識は。教訓をどう活かしていくか。

A 「千葉市史」等に記録されていないが、当時そのような事件が全国で起きたと承知している。人権侵害は、どの時代であっても、決して許されるものでない。今後も人権施策を進めていく。なお、災害時にはデマやフェイクニュースの発生があることから、適切な情報発信を行い、デマ拡散防止に努めていく。

千葉公園について③(交通安全・施設整備)

Q 新体育館西側道路の安全対策を。プール南側の道路廃止の見通しは。公園のバリアフリー化やトイレ整備は。また、公園内への「橋の整備」の検討状況は。

A 市民意見を踏まえ、歩行者の安全対策を検討している。プール南側の道路廃止は、現在検討を進めている。計画的にバリアフリー化を進め、トイレは賑わいエリアに新たに設置するとともに、既存トイレの建て替えも検討する。公園入口と図書館裏を結ぶ「橋の整備」に関しては、必要性も含め今後も検討していく。

亀井 新体育館西側道路は歩道が狭く、速度規制等もないため、危険な状況だ。交通安全対策は長らく指摘しているので、対応してもらいたい。また、プール南側の道路廃止は、地域住民に丁寧に説明・周知を。バリアフリーとトイレ整備は、鋭意進めていただきたい。今後も、地元や公園利用者の意見をしっかり聞き、みんなに心地よい公園となることを求める。



亀井 関東大震災から100年を迎えた今年、震災の教訓とともに、震災時には流言やデマによって、全国各地で朝鮮・中国の人々をはじめ、避難民の日本人も自警団や民衆によって命を奪われた歴史もきちんと見直されている。(県内では「福田村事件」(野田市)など)本市でも、旧検見川町(現在の花見川区検見川町)において、避難してきた秋田、三重、沖縄3県の日本人3名が朝鮮人と疑われ、地元自警団によって殺害された「検見川事件」が起きたが、その歴史はきちんと語り継がれていない。差別や偏見がデマやフェイクニュースの形で、インターネット等での暴力や人権侵害に繋がることは、今日なお起きている課題であり、今あらためて、こうした負の歴史もきちんと見つめ直し、教訓を未来に活かしていく必要がある。